

10.22
全国一斉
公開捜査



オマタセ、ペイペー。イツツ。シヨータイム。

まだ
まだ

madamada

abudeka

あぶない刑事

館ひろし 浅野温子 仲村トオル 柴田恭兵

佐藤隆太 窪塚俊介 ベンガル 山西道広 水川あさみ 原沙知絵／木の実ナナ／小林稔侍

監督／鳥井邦男 脚本／柏原寛司 大川俊道 オーブニング・テーマ／オレンジバロー (BMGファンハウス) 挿入歌／柴田恭兵 (フォーライフ) エンディング・テーマ／館ひろし (BMGファンハウス) オリジナルサウンドトラック盤 (BMGファンハウス)
「まだまだあぶない刑事」製作委員会／東映 日本テレビ 握入歌／柴田恭兵 (フォーライフ) エンディング・テーマ／館ひろし (BMGファンハウス) オリジナルサウンドトラック盤 (BMGファンハウス)
「まだまだあぶない刑事」製作委員会／東映 日本テレビ 握入歌／柴田恭兵 (フォーライフ) エンディング・テーマ／館ひろし (BMGファンハウス) オリジナルサウンドトラック盤 (BMGファンハウス)

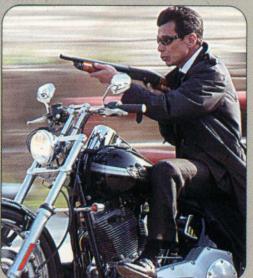
www.abudeka.jp

黒く、美しく、シャイな2人が、犯人を追って、華麗に舞う!
Gun Bike Car Run Dance Sing Music Fashion and Love...

女性のハートを打ち抜き、男達をシビレさせた、タカとユージが帰ってきた!!

1986年10月5日、テレビシリーズとしてスタートした『あぶない刑事』は、ハードボイルドをベースにしながら、コミカルな魅力にも満ちていた。ソリッドな館ひろしがノースタントでバイクアクションを見せたかと思うと、柴田恭兵がジョークをかましながら、軽快なステップを踏む。日本中の男女が夢中の浅野温子が天真爛漫にはしゃぎ、若さまぶしい仲村トオルがおどけてみせる。そして4人ともマジになれば、刃物の様にあぶない、イイ男、イイ女。骨太な男のドラマを支持する者から、「カワイイ」と感覚でチャンネルを合わせる者まで、時代のすべてを虜に。「あぶデカ」の人気は急上昇した。以降、劇場版5作、テレビシリーズ1作、テレビスペシャル1本を生み、熱烈なファンを中心とした多くの人々に支えられて続けてきた。

そして2005年10月22日、ついに待望の映画最新作『まだまあぶない刑事』でタカとユージが復活!!



韓国・釜山の闇に、二つのロングコートのシルエットが舞う。

サングラス二つだけを残して、爆発と共に横浜の海から消えたタカ(館ひろし)とユージ(柴田恭兵)は、アンダーカヴァーコップとして、世界最大スケールのあぶない事件を追っていた。核爆弾の取引だ。小さい国なら軽くフッ飛ぶその代物が、日本に持ち込まれた……。

7年ぶりの横浜。横浜港署捜査課はナカさん、パパ、谷村、瞳ちゃん、と相変わらず。だがなんとトオル(仲村トオル)が捜査課課長! カオル(浅野温子)が少年課課長! 松村(木の実ナナ)が港署署長! 深町(小林稔侍)が神奈川県警本部長! になっていた。そしてあぶなくない優秀刑事、ITを駆使する水島(佐藤隆太)、ガンマニアの鹿沼(窪塚俊介)、少年課の新人・梨沙(水川あさみ)が、ベテラン達を押しのけてデカい顔をしていた。

「瞳ちゃんお茶!」と、すっかり課長に收まっているトオルを取調室で絞めたタカとユージは、7年前に逮捕した銀行強盗犯・尾藤が脱獄して大型ライフルで次々と報復している事を知る。タカとユージもターゲットだ。そこへ現れるミステリアスな美女・涼子(原沙知絵)。そんな中、警察庁と内閣調査室は2人を指名手配する。……難事件ほど、あぶないハートは燃える! ユージは華麗に走り、タカはハーレーに跨りショットガンを撃つ! しかし追い詰めた尾藤はすでに死んでおり、持ち込まれた核爆弾は超満員のサッカースタジアムで爆発することが分かる! そこへ、男と金を掲げた紫の影・カオル忍者と梨沙が緊急出動!!

涼子を疑いながらもその身を案じ、大いなる罠と知りながら向かって行くタカとユージ。待ち受けの衝撃の事実! 核爆弾は何処に!? 超満員のサッカースタジアムを巻き込みながら、事件はクライマックスに!

興奮したい人、驚きたい人、シビレたい人、最近いいコトない人は、観に来てみて。未経験者大歓迎。

サングラスを掛け、ニコチンパワー満タンで「行くぜユージ」「OK、タカ!」
 まだまだ、あぶない刑事が俺達には必要だ!!

